

提 案 概 要

(北九州市立ふれあいむら社ノ木デイサービスセンター 指定管理者)

団体名： 社会福祉法人 年長者の里

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
人間尊重・自立支援・地域貢献を基本理念におき、「先義後利」を精神的なバックボーンに「我が老を老とし、人の老に及ぼす」を実践する。ご利用者が心から満足して生活できる日本一の介護サービスを目指し、接遇の基本となる「挨拶・笑顔・敬語・気配り」を旨とし、ご利用者が自立した生活が継続できるよう支援する。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
公認会計士の監査、福祉オンブズマン委員会による監視を受けてガバナンスの効いた正々とした業務執行に努めている。また厳格な教育指導の伝統を引き継ぎ、堅確な介護技術をもってご利用者に寄り添える人材を継続的に育成するとともに、働きやすい職場環境の構築にも努めている。
(3) 実績や経験など
ふれあいむら大蔵の指定管理業務を 25 年以上行った実績とデイサービスを市内 4 カ所安定的に運用している経験を活かし、ご利用者の安全・安心はもちろんのこと、居宅での生活が継続できるよう心身機能の維持向上、社会的な孤立の軽減、介護負担の軽減に取り組む。また、ご利用者を支える職員の育成にも計画的に取り組んでいる。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
現状の来所者数に満足せず、数値目標を掲げ、PDCAサイクルに則って収益向上を目指す。SNSを活用した情報発信により事業所の透明性を高めるとともに、活動内容を広く公開していく。また高齢者が住み慣れた環境で生活を継続できる仕組みを構築し、個別性に合ったサービス提供に努めていく。
(2) 利用者の満足度
サービス利用により、楽しみながら心身機能の向上が図れるよう支援することで、意欲や生きがいを高めていく。また苦情・要望に即応できるよう担当者を定めるとともに、第三者の目を通じて適切な対応を心掛けている。通所部門の定例会で共有される情報を活かし、満足度向上につながる取組みを展開する。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理業務に係る費用
当法人のスケールメリットを活かし、事業所間の連携による経費削減や業務分担により、収支の改善を図る。ICT等導入により業務効率を向上し、また法人内他事業所の成功体験を共有することで、働きやすい職場環境を構築する。

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
法人本部を中心に、入所・通所・訪問・居宅介護支援の4部門からなる組織体制により重層的な支援を実現し適切な管理運営を行う。また職員に対しては、資格取得、スキル向上、目標管理、家庭環境に合わせた働き方等の提案により安定的な雇用を実現し、地域との馴染みの関係を継続する。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
「個人情報保護法」並びに介護保険法その他関連法規に基づき、法人独自の規定を定め、適正な運営が行えるよう管理している。また災害に備えたマニュアルの整備や訓練を通じて、非常時に備えている。 ご利用者がどのような状況であっても公平にサービスを受けることができるようその仕組みを整備し、職員教育を徹底している。
(3) 地域貢献・社会貢献
当法人は早くから障がい者および高齢者の雇用に取り組み、地域の雇用促進に寄与している。また高齢であっても健康に留意した就労が行えるよう職種変更や働き方の変更を提案している。 地域活動への参加や地域、教育機関への講師派遣など専門職等人員を派遣し、地域に向けて情報を発信している。

提案額（千円）

令和7年度	0円
令和8年度	0円
令和9年度	0円
令和10年度	0円
令和11年度	0円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。